



※6月号の題字は2年2組のI.Sさんの作品です。

和田中生のインクルージョンの推進

校長 生田目 将

東京都教育ビジョン第5次の「教育のインクルージョンの推進」とは、障害の有無や国籍、文化的背景などにかかわらず、すべての子どもが共に学び、共に成長できる環境をつくることを目指す理念であり、多様性を尊重し、一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援を行うことで、誰一人取り残さない教育の推進を目標に掲げている。本校では、インクルーシブな社会の実現をめざす生徒の育成のために、他者を認め合い、互いに学び合う関係づくりを重視し、昨年度から教育目標で「共生」を意識してきた。学校は社会の縮図であり、日々の教育活動を通して生徒が多様性を受け入れ、共に生きる力を育むことが、インクルージョン、すなわち共生社会の実現につながる。その体現を和田中生が日々着実に積み重ねてきている事実を一人でも多くの人に伝えたい気持ちに押し切られ、「生徒・学校の様子はHPで発信し、学校だよりでは教育論議をする」という校長としての学校だよりへの方針を今回一度だけ変え、体育大会取り組み期間中の紹介をする。①1学年練習の大縄の際、1-4組が200回を超える記録の中、5組の50回の発表があった瞬間、蔑むような表情を露わにした生徒を見かけた。言葉を発したわけでもなく私の思い込みかもしれないため、体育大会の当日のその生徒の反応を追った。すると、結果発表で5組は大差をつけられるが「70回」。回数が伸びたことへなのか、5組のその後の努力を見たのかは定かではないが、その対象生徒が5組の結果に賞賛の拍手を送る姿に心を打たれた。②和田中では体育大会練習期間中の給食では全員リレーを共に走る3年生と5組との交流給食を例年行っている。今年の3年生は、特に会話を楽しむプロフェッショナルであった。お互いにまた一緒に食べたいという声をたくさん聞いた。今後は年間を通じた交流給食に取り組みと思わせる光景だった。③今年度から総合得点で5組の特別扱い「特別賞」を無くし、1学年に混じって競い合った。結果、優勝こそできなかつたが接戦であった。5組の生徒はやり切ったという思いをもてている。この取組に卒業生の保護者からは温かい賛同の声をいただいた。

今回は5組と通常学級の関係を紹介したが、インクルージョンとは、障害の有無や国籍、文化的背景などにかかわらない、すなわち、通常学級内の生徒間でも全てのシーンで偏見ない多様性を認める学校が目標である。誰にでも得意不得意、向き不向き、できるできないなどはある。和田中はその誰しもが幸せになる社会を創造できる生徒の育成に向かってこれからも新化・進化・深化していく。

和田中学校の様子

体育大会



5月24日(土)に第49回体育大会が行われました。当日の気温はやや高くなりましたが、薄曇りで絶好の体育大会日和となりました。練習の成果を思う存分に発揮し、たくさん的好記録が生まれました。伝統のWA☆DANCEも披露され、力を出し切った生徒たちの笑顔がとても輝いていました。

梅狩り

生徒が収穫した梅の実です。



実を使って、梅ジャムや梅シロップを作ります。



クリーンアップDAY

PTAの協力のもと、放課後のクリーンアップDAYが実施されました。ボランティアの生徒と一緒に学校の周辺のごみを拾いました。



表彰

○第7ブロック中学校テニス選手権大会 男子団体3位

○社会を明るくする運動 感謝状受賞

行事予定

6/16（月）	生徒会朝礼	7/ 5（土）	道徳授業地区公開講座
18（水） ～20（金）	第1回定期考查	7（月）	生徒会朝礼 生徒会選挙告示
24（火）	小中交流会	9（水）	社会を明るくする運動（1年）
27（金）	校外学習（5組）	10（木）	避難訓練
30（月）	全校朝礼	11（金）	伝統文化体験
7/ 1（火）	専門委員会	12（土）	数学検定
3（木）	中央委員会	14（月）	生徒会選挙立候補締め切り
4（金）	ブラッシング指導（1年） 漢字検定	17（木）	大掃除
		18（金）	終業式